

純正シート加工で作る

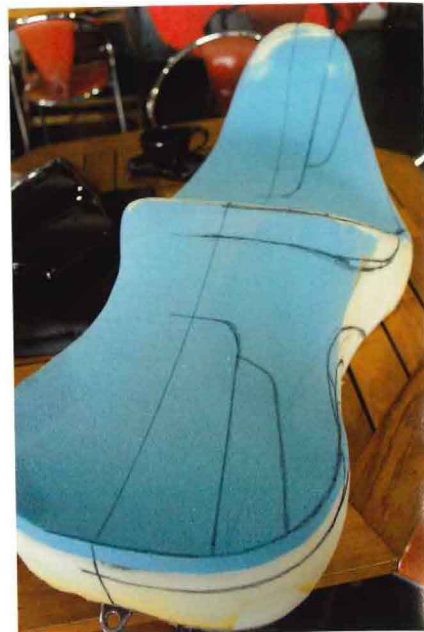
ポイント / **4**

「やはり純正が一番」と、ノーマルを絶対的に信頼している人も少なくない。そこでオススメなのが純正シート加工だ。大阪のカスタムショップ「トライジャ」は、純正シートをもとにしたカスタムシートも製作している。いわく、純正品のシートベースは強度が高くて高品質であり、ノーマルの面影を残したカスタムには純正が合うのだという。しかし、加工とはいえ、その内容はほぼワンオフといえるもの。ウレタンは手作業で成型し、加えてデザインや素材の自由度も無限だ。そのため、オーナーの理想を高次元で実現することができるのだ。

質であり、ノーマルの面影を残したカスタムには純正が合うのだという。しかし、加工とはいえ、その内容はほぼワンオフといえるもの。ウレタンは手作業で成型し、加えてデザインや素材の自由度も無限だ。そのため、オーナーの理想を高次元で実現することができるのだ。

純正シート二次加工とは？

トライジャでは純正スポンジをオーナーに合わせて修正し、それに合わせてレザーを裁断、縫製するので、加工品にありがちな違和感もなく、ワンオフ製作のシートのように仕上がる。さらに中身の素材も選択可能だ



問い合わせ/トライジャ TEL072-970-3110 <http://trijya.com>

自分の理想をカタチにできる！



スリムに加工。

足つき性を向上させるため、シート前方をスリム化。さらにスポンジを削るだけでなく中央部分は逆に盛ることで、より足を下ろしやすい形状に加工している

レザーのデザインは自由自在。

純正ベースではあるものの、革の素材やデザインを自由に設定できるので自分好みのルックスに製作可能だ。このように部分的にタックロールをあしらうこともできる

スポンジも変更できる。

低反発のスポンジやゲルを内蔵することも可能。どんな乗り心地を希望するのかを相談すれば、中身の素材をどうするかなど、さまざまな提案してくれる

純正シートでもここまでできる！

電熱シートも加工OK!



内部に配線が通った電熱シートであれ形状変更ができ、足つきを改善することができる。このシートは、さらにステッチワークを加えてカスタム感も強調している



レザーを数種類使用したほか、ステッチワークをアレンジすることでこんなに印象が変わる



セバレートタイプのシートに、部分的にタックロールをあしらって統一感あるデザインに



ドイツのアーティストに依頼してエンブレイビングなどを施工。もはや芸術品といえる領域



ツートーンに分けた明快な色使いのほか、主張の強い立体的なフレームスで迫力を出した



ソロシートの後ろにあるカバーも同じデザインのステッチワークで統一してディテールアップ



シート以外のバックレストやサドルバッグカバーまでトータルでコーディネートできる

お尻が痛くなりにくいシートを選ぶ

ポイント / **3**

走行中にお尻が痛くなった経験はないだろうか。それはバイク乗りならば世界共通の悩み。アメリカでシェアナンバー1を誇る老舗シートメーカー「マスタング」は、クッション性がありつつもコシがあるという、相反した要素を兼ね備える高反発ウレタンフォームを独自に開発。快適な乗り心地で多くのユーザーに支持されているのだ。さらに日本人のために“足つき”をよくした特別仕様もある。ツアラーで長距離を楽しみたいというユーザーは要注目シートだ。

問い合わせ/プロト
TEL0566-36-0456
<http://www.plotonline.com>



“ジャパンフィット”なら
疲れにくいうえに
乗りやすい!

トリッパージャパンフィット
ツーリングモデル '08~'17用
オープン価格

「プロト」がマスタングに別注し、実現した日本限定モデル。座り心地のよさはそのままに、日本人の体形やストップ＆ゴーの多い道路状況を考慮して誕生



ブラウン

ブラック

独自開発のウレタンフォーム



理想的なクッション性を追求し、マスタング独自の高反発ウレタンフォームを採用。これによって座り心地のいい柔らかさと、長時間座り続けても痛くなりにくいコシを実現した

しっかりと腰をホールド



発進時や加速時にお尻がずれることがないように座面後部にわずかな窪みを設けている。そのため、シート自体はスマートな見た目にもかかわらず、腰をしっかりサポート

本体のスリム化で足つきを向上



トリッパージャパンフィット

ノーマル

Column

さらにハンドルを換えれば極楽ポジションを実現。

純正っぽい見た目ながら、グリップの位置を手前にセットできる“イージーフィットバー（14~16 ツーリングモデル用・1万3824円）”を同時に装着すれば、より日本人にしくりくるポジションになる。70mm、50mm、30mmバックの3タイプをラインアップ



車重のあるツアラーに日本人が乗っても安心できるようにシートを幅を上げて足つき性を向上。太ももの裏の張り出しをシャープにすることで、足を自然につける形状に見直した